

岩石の学びでは、本物の岩石と触れることでその成り立ちや特徴を吸収してもらいたいという願いがあります。

「岩石」の単位では、授業中に岩倉川へ出かけて岩石を採取し、ひとりひとり気に入った石を岩石ハンマーで割りました。摩擦などの風化を経していない新鮮な面に出会い、新たな発見を体験しています。またクラスメイトと共に岩石の特徴を見つけ、スケッチや顕微鏡観察で一步踏み込んだ岩石との出会いを経て、たくさんの種類をみしてきました。

そのまとめとしてペーパーのテストでなく、岩石実物テストを行います。

火成岩・堆積岩・変成岩がそれぞれはいったBOXのなかから、つかみ取った岩石の分類と名前を答えてもらいます。岩石の名前だけを覚えることは簡単でも、「安山岩」とひとことにいっても色々な「安山岩」や色々な「チャート」など自然のなかでできるもののバリエーションに悪戦苦闘しているようです。

『自然は縫い目のない織物のようだ』という言葉に表されるような境界がはっきりしていない自然の多様性と、そのなかから鉱物や色、割れ方などある特徴を見抜ける力もつけていくことを期待しています。

校内岩石ウォークラリーの様子①



校内岩石ウォークラリーの様子②



岩倉川 岩石採取①



岩倉川 岩石採取②



岩石標本の確認①

